

# ひらの 議会だより



**平成24年度の  
実績と成果を認定**

**復興へ取り組む広野町財政状況(平成24年度決算認定)②**

**さらに復興を加速させるため(9月補正予算)⑥**

**帰町後の環境整備など2議員が町政を問う(一般質問)⑫**

**私も未来の捜査官**

(警察出前事業 ポリスアカデミー・フォー・キッズ 広野小学校)

**No.119**

平成25年10月18日発行

福島県広野町議会

E-mail [gikai@town.hirono.fukushima.jp](mailto:gikai@town.hirono.fukushima.jp)

# 191億円 復旧から復興への 成果を認定

平成25年9月定例会を9月10日から13日までの会期で開きました。

今回は、平成25年度一般会計および特別会計補正予算案など、提出された23議案を慎重に審議し、すべて原案どおり可決しました。

また、9月定例会は、決算議会でもあり、平成24年度の一般会計および6つの特別会計を認定しましたが、東日本大震災の影響による町税の減収、今後の財政運営や経費削減に向けた取り組みなどの改善や要望を求める意見が相次ぎました。

なお、一般質問では、2人の議員が、それぞれ町の対応や考えを問いました。



農地除染のようす



除染作業のようす



8月に再開した学校

## 決算のありまし

一般会計は、約16億400万円、特別会計は、国民健康保険など6会計合わせて約27億5974万円となり、合計約191億6374万円余の歳出決算となりました。

これに対して、歳入決算は歳出決算を約21億1866万円上回る、約212億8241万円となりました。

また、町税等の収入未済額は約1億7980万円となり、前年度と比較し、約358万円の増加となっています。町民の負担の公平性を保つためにも、収入未済額の早急な縮減が求められます。

一般会計の歳入面で町税は、前年度と比較し、回復傾向にあります。これは、震災による特別交付税が交付されたことによるものです。



監査結果を述べる小貴代表監査委員

平成24年度一般会計および特別会計の歳入歳出決算書については、関係諸帳簿および証拠書類と照合した結果、決算計数は正確であり、執行は適正なものと認められました。

広野町の財政状況は、依然として東京電力(株)広野火力発電所における大規模償却資産税への依存度が高い状況にあります。

しかし、大規模償却資産税は年々大幅に減少し、22年度から引き続き普通交付税の交付団体となっています。

さらに、東日本大震災による不動産の流失、損壊による固定資産税の減収、法人税の落ち込みなど、減少する税収を見据え、24年度に実施した政策や施策の結果を検証するとともに、町民のための優先事業などを見極める必要があると思います。

結果的に歳出の削減につながるような施策を積極的に展開されることを望みます。



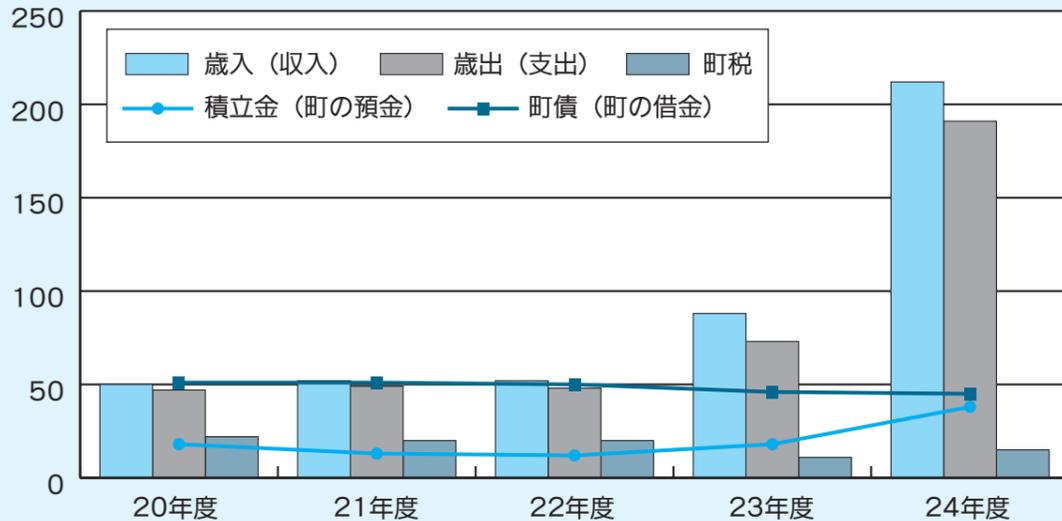
起立による決算認定の採決のようす

一般会計・特別会計  
歳入歳出決算額、積立金現在高、町債現在高の推移  
(単位：億円)

|      | 歳入<br>(収入) | 歳出<br>(支出) | 町税 | 積立金<br>(町の預金) | 町債<br>(町の借金) |
|------|------------|------------|----|---------------|--------------|
| 20年度 | 50         | 47         | 22 | 18            | 51           |
| 21年度 | 52         | 49         | 20 | 13            | 51           |
| 22年度 | 52         | 48         | 20 | 12            | 50           |
| 23年度 | 88         | 73         | 11 | 18            | 46           |
| 24年度 | 212        | 191        | 15 | 38            | 45           |

一般会計・特別会計 歳入歳出決算額、積立金現在高、町債現在高の推移

(単位：億円)



平成24年度歳入・歳出決算額

〈金額は、全て千円以下を切り捨てて表示しています。〉

| 会計名  | 決算額        |            | 収入未済額<br>(税金等の滞納) | 採決の状況   |   |
|------|------------|------------|-------------------|---------|---|
|      | 歳入 (収入)    | 歳出 (支出)    |                   |         |   |
| 一般会計 | 181億1973万円 | 164億 400万円 | 2億3784万円          | 全員賛成で認定 |   |
| 特別会計 | 国民健康保険     | 9億1656万円   | 8億5175万円          | 7573万円  | 〃 |
|      | 土地開発事業     | 9162万円     | 7902万円            | 0円      | 〃 |
|      | 公共下水道事業    | 15億7120万円  | 12億7825万円         | 456万円   | 〃 |
|      | 農業集落排水事業   | 3188万円     | 2621万円            | 151万円   | 〃 |
|      | 介護保険       | 5億3342万円   | 5億 692万円          | 317万円   | 〃 |
|      | 後期高齢者医療    | 1797万円     | 1756万円            | 9万円     | 〃 |
|      | 小計         | 31億6265万円  | 27億5971万円         | 8506万円  |   |
| 合計   | 212億8238万円 | 191億6371万円 | ※3億2290万円         |         |   |

※国庫補助金と県補助金の翌年度繰越事業に充当する5803万円が含まれています。

平成24年度決算

4つの健全化判断比率でチェック

危険信号※

| 指標       | 内容              | 広野町   | 早期健全化基準 |
|----------|-----------------|-------|---------|
| 実質赤字比率   | 一般会計を中心とした赤字の割合 | 赤字なし  | 15%     |
| 連結実質赤字比率 | 全ての会計の赤字の割合     | 赤字なし  | 20%     |
| 実質公債比率   | 年間の借金返済額の割合     | 15.0% | 25%     |
| 将来負担比率   | 将来負担が見込まれる負債の割合 | 58.7% | 350%    |



広野町の財政の健全性を表す指標は、いずれも危険な基準を超えておらず、財政状況は良好とされています。

質疑

執行した予算の成果を  
今後にかかすよう要望

収入未済額の取り扱いは

**渡辺久長議員** 平成24年度の町税などの収入未済額が約1億8000万円ですが、現在、収入未済額に対する取り扱いはどのようになっていますか。

**根本町民課長** 大震災の影響もありますので、国税や県税等を考慮しながら、震災に直接関係ない滞納なども含め、徴収対策をとっていきたく考えます。

また、法的に問題はありませんか。

また、時効になっていないものは、厳しく徴収したいと考えます。

防災集団移転促進事業の630万円とは

**門馬まりえ議員** 広野町では、防災集団移転の実施はされていないと思いますが、この費用は災害公営住宅の移転事業費用ということですか。

**根本復興建設グループリーダー** 630万円は防災集団移転のなかの移転候補地の選定にかかる調査委託料です。

災害公営住宅の費用ではありません。

分担金徴収への対策は

**塩 史子議員** 過年度分の下水道受益者分担金について、公平性の観点からも徴収にはどのような努力をされていますか。

**渡辺建設グループリーダー** 分担金を滞納している受益者に対し、年1回の通知をしています。

医療費の住民への周知を図れ

**門馬まりえ議員** 平成18年からの医療費適正化特別対策事業で、広野町は臨時職員を配置して医療費のレセプト点検や分析をしていますが、自分たちの医療費がわかるような住民への周知はどうなっていますか。

**根本復興建設グループリーダー** 医療機関にかかった被保険者に対して通知し、医療費の抑制を図っています。

全会一致で可決

# こころひとつに！ 広野町

## 財政調整基金積立金(町の貯金)など 18億7065万円を追加補正

今回補正は、財政調整基金積立金（町の貯金）や住宅改善事業の内容となりました。これにより、一般会計は歳入歳出それぞれ13億8716万円追加され、総額で119億1635万円となりました。

| 会計名  | 補正額       | 補正後額       |           |
|------|-----------|------------|-----------|
| 一般会計 | 13億8716万円 | 119億1635万円 |           |
| 特別会計 | 国民健康保険    | 5786万円     | 9億3245万円  |
|      | 土地開発事業    | 8444万円     | 2億8501万円  |
|      | 公共下水道事業   | 3億1164万円   | 6億4563万円  |
|      | 介護保険      | 2914万円     | 4億6652万円  |
|      | 後期高齢者医療   | 41万円       | 3974万円    |
|      | 小計        | 4億8349万円   | 23億6935万円 |
| 合計   | 18億7065万円 | 142億8570万円 |           |

※金額は、全て千円以下を切り捨てて表示しています。



町内公共施設に植栽されている桜

町で管理している桜の木は、門馬まりえ議員 町で桜の木を管理している場所は何か所ですか。中津企画グループリーダー 今回の桜木の手入れは、公共施設に植栽している桜木862本を剪定、殺菌する内容です。



津波により大きな被害を受けた北釜地区（平成23年8月17日撮影）

### 基金制度の具体的な内容は

塩 史子議員 今回の東日本大震災でかなり、地震の被害も受けたいと思いますが、広野町津波被災住宅再建支援基金は、津波被災住宅だけ該当するのですか。また具体的にはどういったことに使われるのか。青木総務課長 この基金は県からの交付金で、津波で被災した住宅を再建する場合のみ使えるものです。具体的な内容は、町で検討していますが県の交付要綱に沿った形で支援方針を定めていくこととなります。

### 人事案件に同意

人事案件は、適任であると認め、任命に同意しました。

#### 教育委員会委員任命



渡辺 昇氏 (大字下北迫)

### 勤務状態正常化の見通しは

渡辺正俊議員 職員管理のなかで、夜遅くまで時間外勤務をしなくてはならないというところが続くことは、異常であると思います。この状態が、いつごろに正常化するのかわかる見通しはつきませんか。山田町長 水曜にノーマルですが、現段階では、時間のかかる業務があります。いつまでとは、はっきり答えられませんが、よく連携をとって、少しでも早い時間に帰宅できるような方法をとっていきたいと考えます。

### 支援金が上昇した理由とは

北郷幹夫議員 後期高齢者支援金で、当初予算が6300万円ですが、今回の補正で2500万円、約40%アップした理由はどのようなことですか。根本町民保健グループリーダー 昨年度の実績に基づき、当初予算に計上していました。後期高齢者の医療費がかなり上がったことが主な原因と考えています。

### 議員発議

#### 全会一致で意見書を国に提出

「森林吸収源対策及び地球温暖化対策に関する地方の財源確保」のための意見書

提出者 坂本 紀一  
賛成者 門馬 巧  
小磯 利雄

#### 道州制の導入に断固反対する意見書

提出者 坂本 紀一  
賛成者 門馬 巧  
小磯 利雄

分 譲地の契約と駅東側の進捗に期待  
復興に向けた造成事業

大吹地区宅地分譲地は8区画中未契約2区画、広洋台空区画3区画中未契約2区画、苗代宅地造成分譲6区画中未契約4区画の2次・3次募集を行っているとの説明がありました。

駅前側地区開発は町・県間で広野駅東地区復旧・復興事業調整会議を設置し、7月28日から町・県合同の説明会を開催し用地交渉を開始し、9月22日合同調印式の予定との説明がありました。

# 会報告

# 委員

## 状況を報告します。

興に関する特別委員会委員長に  
されました。

平成25年8月21日 開催  
平成25年8月19日 開催  
平成25年8月27日 開催

## 委員会の活動

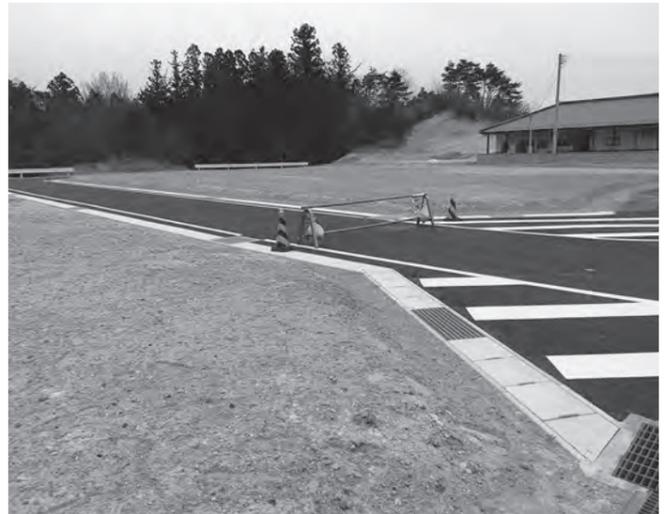
東日本大震災災害復興北郷 幹夫議員が選出

総務文教常任委員会  
産業厚生常任委員会  
東日本大震災災害復興に関する特別委員会

## 早 い町営住宅の修繕を 帰町促進を図るための取り組み

7月に集計・公表された町営住宅の室内現況調査結果は対象戸数184戸、調査済戸数172戸、要修繕戸数は80%の138戸でした。

耐震の問題と老朽化が著しかったことから解体を検討しているとの報告がありました。委員会として町営住宅の修繕など一刻も早く進め、町民帰町につなげることで、帰町者を対象とした行政サービスの周知を図るよう提言しました。



再募集が行われている苗代替宅地



3年ぶりに本格的なコメの出荷へ

## 海 岸堤防の有効活用へ 浅見海岸堤防背後地に係る土地利用

浅見海岸に設置される堤防の背後地（堤防と広野・小高線の間）を防風林にする予定について、土地の高さ、浄化センターとの兼ね合いはどうか。購入する土地に何を植栽するのか。窪地にならないかなどの指摘があったことをふまえ、本事業が所期の目的を達成することを提言しました。



修繕が予定される町営住宅

## 町 民の希望につながる遺跡保存を 桜田IV遺跡の概要

これまでの調査経緯と成果の説明から今後の検討課題として、駅家が設置された古代官道の位置が未確認であることなどによりこれまでの発掘調査だけでは駅家と推定するには判断材料が少なく慎重に期すべきとの説明がありました。

## 公 平な支援制度を （仮称）広野町津波被災者等住宅再建支援制度の創設

福島県市町村復興支援交付金のなかに「津波被災住宅再建事業分」が確定し、本町の被災者が新たに住宅再建する際の支援制度を創設するものであるとのことでした。

## 安 全安心な米として出荷できるように 平成25年産米の作付け

平成25年産米作付け状況は、111ha/101戸 5品種であったことや広野町管理計画に基づく交差汚染防止対策として、もみすり作業時に、とも洗を実施することなど委員からは「とも洗」の説明がありました。

- ※1 交差汚染 放射性物質に汚染されたもみすり機などを使用して米が汚染されること
- ※2 とも洗い 籾米をもみすり機の内部で循環させながら機内を清掃すること



工事が進む災害公営住宅

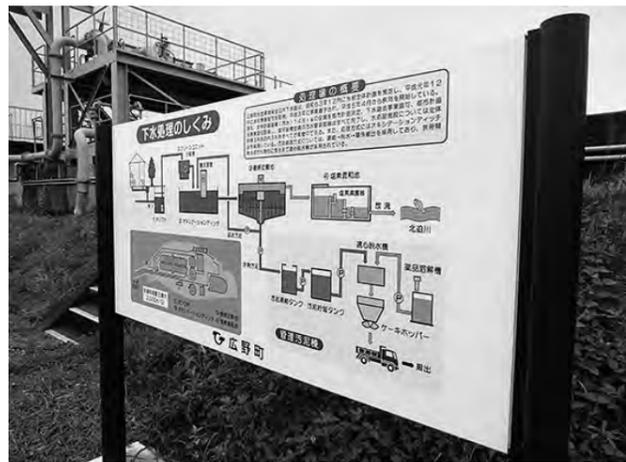
産業厚生

# 混

乱のないよう、入居基準を明確に  
災害公営住宅の建設

来年9月には、完成となるが、完成時期が明確になることで、家賃、入居の可否などの入居基準を明確にして、混乱のないよう取りはからうべきとの意見が出されました。町長からは、町負担の軽減、家賃徴収の減免などを国に働きかけていること、また、災害公営住宅増設要望を

して、委員会は本事業が多少の解決すべき問題をかかえつつも工事計画にのっとり完成に向けて最善を尽くすことを提言しました。



広野町下水処理場

産業厚生

# 指

摘事項を精査して推進へ  
広野町特定環境保公共下水事業の区域拡大

公共下水道事業の区域拡大について、処理対象面積拡大すること、処理場の能力に問題が生じないのか。処理場は現在何バッチで運転しているのかなど多くの指摘がありました。委員会は、駅東側開発事業が町復興のパイロット事業であるとの認識のもと区域拡大施策を図ることを期待するも指摘事項を精査し推進するよう提言をしました。

特別委員会

# 定

期的な説明会の実施を求める  
減容化施設に係る進捗状況

災害廃棄物などの減容化処理施設について、環境省から、①これまでの主な経緯、②今後の施設建設スケジュール、③減容化処理施設の概要の説明を受けました。各委員から、煙から放射性物質が排出するのではないか、残渣(ごんさ)および水の取り扱いはどうなるのか、などの質疑が出されました。環境省からは、煙突の出口にバグフィルターを取り付け、ほとんど排出されない施設である。また、水は、施設の冷却のために使用し、最終的には、水蒸気として排出されるとの説明を受けました。委員会としては、定期的な説明会の実施、建設スケジュールの前倒しと施設解体撤去後は、汚染された廃棄物はそこに残らないように万全を期するよう求めました。

## 総務文教委員会

### <長崎県島原市を研修> 雲仙普賢岳噴火災害からの復興・被災救済事業 ~未来を見据えたまちづくりと課題~



未来を見据えたまちづくりを学ぶ委員

平成9年3月に島原地域再生行動計画(愛称「がまだす計画」)が策定されました。へがまだすとは、島原地方の方言でへがんぼる(がんばる)という意味。がまだす計画事業には、防災工事、農地の災害復旧、交通体系の整備などの基盤的業務と農林水産業や商工、観光業の振興、各種公共施設の整備などが、がまだす計画策定前からの継続事業、新規事業合わせて335の事業で進められてきました。復旧・復興へ長期に渡って取り組むことになった島原市、住民が粘り強くがんばるという意思のもとに計画策定をしました。その中に見えたことは、インフラ整備と同時に産業の復興がなければ、展望が開けないということです。私たちが住民の気持ちに沿いながら粘り強く復興に向けて取り組んでいくことを再確認できた研修でした。

## 産業厚生委員会

### <兵庫県淡路市を研修> 阪神淡路大震災を経験した淡路市の取り組みを学ぶ ~再生可能エネルギーを利用した防災体制~



再生可能エネルギーについて説明を受ける委員

淡路市役所付近に市防災あんしんセンターが平成22年に完成しました。1階は給食センター、2階は、地域交流センターになっており、小中学校の防災教育、災害ボランティア研修、地域住民の料理教室などを行う多目的ホールや研修室、市民防災室となっています。災害時には、1階の給食センターは炊き出しの拠点となり、2階の地域交流センターは、多目的ホールが災害対策本部に変わり防災の拠点施設となります。あわじメガソーラーは、パネル5022枚を庁舎横に設置したものです。発電した電気は、役所や防災あんしんセン

ター、浄化センターに送電され、3施設の約半分の電力(年間約110万kw)をまかなっているとのこと。防災意識の向上については、デジタルテレビを利用したシステムの構築や、64カ所の避難所の高さ表示、235の自治会へ自主防災組織づくりを呼びかけているとのことでした。まとめとして両施設を今回研修して強く感じたことは、備えあれば憂いなしの感を新たにすることです。

# 追跡レポート

## あの質問 どうなった？

議員の質問・提言に答える町執行部、その答弁がその後どうなったのか？ どう町政に反映させているのか、対応を追跡しました。

●平成22年9月定例会 ●質疑  
●平成23年9月定例会 ●質疑  
中津 伸一 前議員

### 低金利への借り換えに努力せよ

公債費（町の借入金）の支出のなかで、低金利への借り換えは課題も多く困難であると思いますが、いくらかでも利息を圧縮するよう努力すべきではないですか。

### 国・県と情報交換し努力します

これまで数回にわたり国や県に要望活動などを行っています。少しでも利率の少ないものに借り換えるなど、国・県との情報交換をしながら一層の努力をしていきます。

### 3年間で約4218万円が圧縮

公共下水道事業特別会計は、低金利へ借り換えすることで下の表のとおり、①借換前利息計が②借換後利息計となり、③差引額分の利息が圧縮されたこととなります。3年間合計で、4218万7950円の利息が圧縮されました。

| 年度 | 借換前利息計①     | 借換後利息計②    | 差引額③<br>①-② |
|----|-------------|------------|-------------|
| 22 | 385万329円    | 33万2183円   | 351万8146円   |
| 23 | 1002万2833円  | 79万3799円   | 922万9034円   |
| 24 | 9024万3127円  | 6080万2357円 | 2944万770円   |
| 合計 | 1億411万6289円 | 6192万8339円 | 4218万7950円  |

一般質問は、公の場である議会で、議員が議題に関係なく、町長の考え方や町政の執行状況について事実の説明を求めたり、所信を問いただすものです。

一般質問席（広野町議会議場）

# 2人の議員が町政を問う

## 一般質問席

### 町民の意見をどう反映するのか

山田町長／改善に向けた取り組みを迅速に行っていく

**北郷** 町民から町政に対する意見、提案等をいただき、今後の行政運営に反映させていくため、町政懇談会を各地区で実施（10回）したようです。

①入りの席者でしたが、  
②町に対して、このような意見、提案等がありましたか。  
③町は、それをこのように町政に反映して行くのですか。

**町長** ①10回の開催で164人の参加をいただきました。  
②6項目に集約されます。「再除染を視野に入れた徹底した除染」「損害賠償の充実」  
「多くの作業員が町内を拠点として活動していることに対する不安解消」  
「増加している車両等による交通渋滞対策及び交通マナーの徹底」  
「放射線教育の充実」  
「その他」

北郷 幹夫 議員

結果・経過は、町民の皆様いきいきと報告しています。

### 町営住宅の計画的な建替えは

山田町長／建替えではなく改修工事

**北郷** 築40年を経過している町営住宅が多数存在し、老朽化が目立っています。

計画的に、町営住宅の建替えをすべきではないですか。

**町長** 避難先で不自由な生活を強いられる町営住宅入居者の方々が、安心して早く帰還できるように、時間的なことや財政面を考慮し、建替えではなく、改修工事を実施することとしています。



8月に開催された町政懇談会

### 「防災士」の育成を図れ

山田町長／養成を図っていききたい

**北郷** 自主防災組織や消防団のリーダー候補を育成することから、積極的に「防災士」の育成を図るべきではないですか。

**町長** 災害の仕組みや対策について一定の知識や技能を有する者を養成することとは、地域の防災力を高めることになると、消防団や自主防災組織に協力を得て、県が主催する防災士の資格取得講座の受講を促し、防災士の養成を図っていききたいと考えています。



救急救命講習（防災士研修センターホームページより）

### 「原発利益共同体」の負担を求めよ

山田町長／国または東京電力に対して要望している

**畑中** 原発建設、維持管理、金融

などの「原発利益共同体」が、事故の収束費用に何ら前向きに貢献していないのは大きな問題です。

多額の費用がかかるすべての案件で「原発利益共同体」の負担を求めるときを、広野町や双葉郡全体で協議して決めるべきではないですか。

**町長**

広野町および双葉地方町村

会では、原子力損害賠償をはじめとする要望は、原発事故の責任を負うべき立場の国または東京電力に対して継続的に行っているところですので。



事故収束に向けて利用される二ツ沼総合公園駐車場

### 新益の縮小を検討すべきでは

山田町長／個人の考えで行うもの

**畑中**

長い間の風習ともなっている新益ですが、震災の後、生活にかかる費用も増えていることから、縮小を検討すべきではないですか。

**町長**

各個人の考えで行うものであり、町が直接関与するものではないと考えています。

しかし、以前に新生活運動推進協議会を設け、香典の金額などについて申し合わせた経緯もありますので、今後、取り組みが可能な含め検討していきたいと考えています。



### 6議案を全会一致で承認・可決

7月29日に第3回臨時会を開きました。

ここでは、専決処分の報告および承認や工事請負契約、補正予算について、全会一致で可決しました。質疑では、補正予算の内容や工事に関するものが出されました。

### 専決処分の対応をしっかりと精査せよ

**坂本紀一議員** 遺跡の

関係で遅れたとのことですが、いくら減額の予算とはいえ、専決処分の日付が6月27日ということは、6月定例会のときにわからなかったのですか。

**黒田副町長** 遺跡の発掘の期間が当初読めなかったということ

で、6月定例会のときに見送ってしまったことは、精査すればご指摘のとおりであったと思っています。

### 町内各業者を優先的に使ってもらう手立ては

**門馬 巧議員** 広野町の

各種ある業種、この方を優先的に使ってもらって工事を進めるというふうな指導、監督はできませんか。

**山田町長** 今回も地元

の方の力をかりなければ完了に向けては難しい面もありますので、請け負った方も、各グループで相談をしながら、少しでも地元の手をかりたいと考えています。

## 第3回臨時会

### 補正予算

| 補正の結果       | 補正額      | (補正後の予算額)    |
|-------------|----------|--------------|
| 会計名         |          |              |
| 一般          | 2億5725万円 | (105億2919万円) |
| 土地開発事業      | 238万円    | (2億57万円)     |
| 主な内容        |          |              |
| ○復興交付金基金積立金 | 1億2641万円 |              |
| ○地域振興対策諸経費  | 7070万円   |              |
| ○除染対策費      | 4652万円   |              |

※金額は、全て千円以下を切り捨てて表示しています。

### 災害公営住宅家賃の減免措置を検討せよ

山田町長／町独自での減免措置を検討中

**畑中**

①災害公営住宅の家賃の減免について、検討していますか。

②いわき市で、独自に災害公営住宅家賃の減額が決まりました。広野町でも、具体的に減免を決めて、町民に広く知らせるべきではないですか。

**町長**

被災者の皆さまの負担軽減を図るため、国の補助事業等を活用するほか、町単独での減免措置も検討しています。

また、内容が決定次第、お知らせしていきたいと考えています。



災害公営住宅完成イメージ

### 工事委託に関する協定の締結

久保田1号線は、復興整備区域北部と常磐線西側を結ぶ幹線道路で、常磐線との立体交差の必要性が生じたため整備するものです。

**工事の名称** 常磐線広野・木戸間久保田こ道橋新設工事

**施行場所** 下北迫字久保田地内  
**協定の年度** 平成25年度～平成26年度  
**工事請負代金** 4億1908万6000円  
**請負者** 東日本旅客鉄道株式会社



### 災害公営住宅建築（1工区）工事

**工事の場所** 下浅見川字桜田地内他  
**工期** 着工 平成25年7月30日  
完成 平成26年9月30日  
**工事請負代金** 7億6545万円  
**請負者** 常磐開発・西本建設特定建設工事共同企業体

### 災害公営住宅建築（2工区）工事

**工事の場所** 下浅見川字桜田地内  
**工期** 着工 平成25年7月30日  
完成 平成26年9月30日  
**工事請負代金** 2億3940万円  
**請負者** 田中・五社山特定建設工事共同企業体



# ま ちかご インタビュー

## 農産物の安全・安心を届けるため 収穫したコメの全量全袋検査もスタート

3年ぶりのコメの本格的な出荷に向けた収穫作業が始まり、収穫したコメの全量全袋検査もスタートしました。

また、一ツ沼直売所が、約2年4カ月ぶりに再開し、モニタリング検査を受けた町内産の新鮮な農産物が店頭にならんでいます。

少しずつですが、日常の風景が戻ってきています。今回、農産物に関する感想や想いをお伺いしました。



あべ ちえこさん  
阿部 智恵子 (上北迫・土ケ目木)

ピーマン、ナス他)を作付けました。

野菜は、必ず食品モニタリング検査を受けてから食べれています。

今後は少しずつ耕作面積を広げていきたいと考えています。

放射線物質のことが心配です。早く、何の心配もなく農作物を耕作できることを切に願っています。

私は、畑仕事が好きでしたが、震災以降は休耕していました。

今年3年ぶりに以前の5分の1の面積で自家用の野菜(ジャガイモ、トマト、



いながわ まさこさん  
稲川 政子 (下浅見川・桜田)

町で作られて店頭に並んだ

野菜のなんと、シャキシャキ、パリパリで、どれを口にしても美味しいことか。風評被害よりも食べてみてわかる、このふるさとの誇りとピカピカの野菜たちの生きる力を。

事故が起きてからはじめて町で獲れたこの物を口にできて、なんと幸せでおいしいんだらうと改めて気づき、おいしいが次の一歩を作るんだと感じています。

## 編集後記

暑かった今年の夏、郷土の復興を祈念して、夜の空に上がる大輪の「花火」。

町を築いてきた先人たちの精霊に手を合わせ祈った、お盆。自分の気持ちを再度奮起させ、次の世代につなぐ町づくりに努力することを誓う。

試験栽培を経て作付再開された水田に黄金色の稲穂がなびく、一方倒伏する水田があり収穫作業に影響を与えている。来年は町内の全部の水田が作付されるとうれしい。



風にそよぐ稲と彼岸花

認定しました。その内容を編集委員が詳細に検討し発行するものです。  
ご意見をお寄せください。  
(渡邊正俊)

発行・編集責任者

議長 鈴木紀昭

広報委員会

委員長 渡邊正俊

副委員長 北郷幹夫

委員 塩 史子

委員 渡辺久長

委員 畑中大子

委員 小磯利雄

次の定例会は12月です